



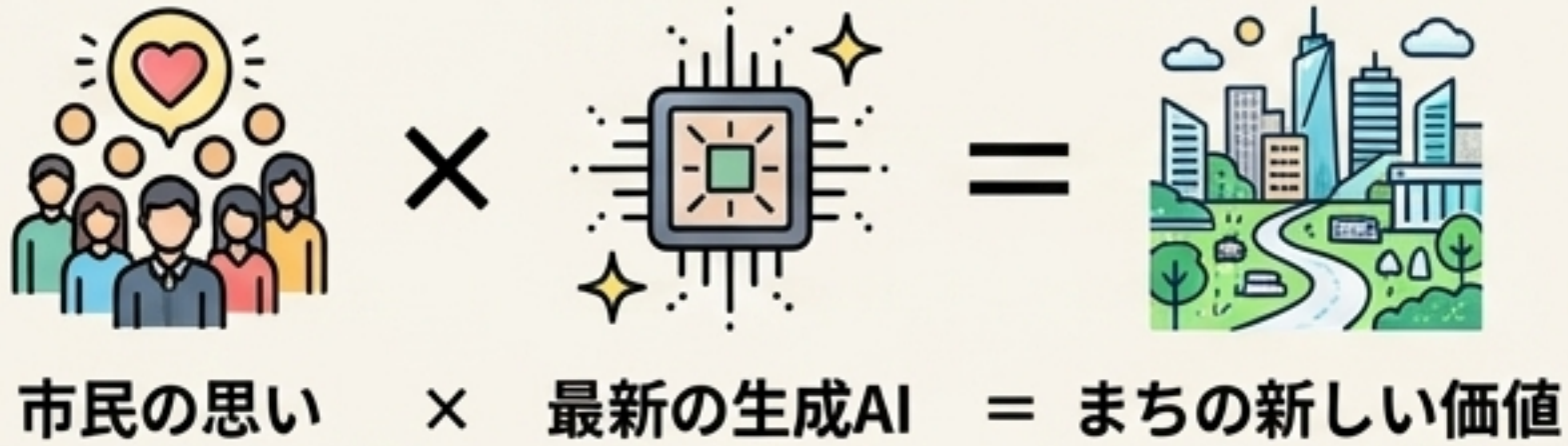
# 活動名：AIを使った 共創協働支援プロジェクト

団体名：まちづくりAI+（プラス）

# 地域の未来を描く「まちづくりAI+」： 事業概要と目的

団体名：まちづくりAI+（プラス）

生成AIを活用し、「まち」「仕事」「価値観」を  
アップデートする。



延べ参加人数：約**150名**

地域住民が最新のAIやIT技術に直接触れる体験型ブースを出展。個人の理想や感情を可視化し、世代を超えて「自分たちのまち」について考える機会を創出。「直接体験」と地域団体への「伴走支援」の双方向から地域活性化を後押しします。



# 地域にAIの体験を。4つの主要イベントの実績と広がり



八女市役所新庁舎完成記念「ナイトマルシェ」参加者: 約50名 (親子参加者含む)

カスタマイズGPTを活用し「理想のまち」を画像生成。  
プリントアウトして掲示し、参加者同士で価値観を共有。



秋のこども職業体験 (九州芸文館)

参加者: 約20名 (主に小学生)

事業者への質問をもとにAIで原稿を生成。ITエンジニア (民間企業) がプログラミング実演を行い、教材をデジタル化。



みさきフェスタ (みさき学園)

参加者: 約20名 (主に小学生)

教育用マイクラフトを活用したSTEM教育・プログラミング的思考の体験会。専門講師2名による指導。

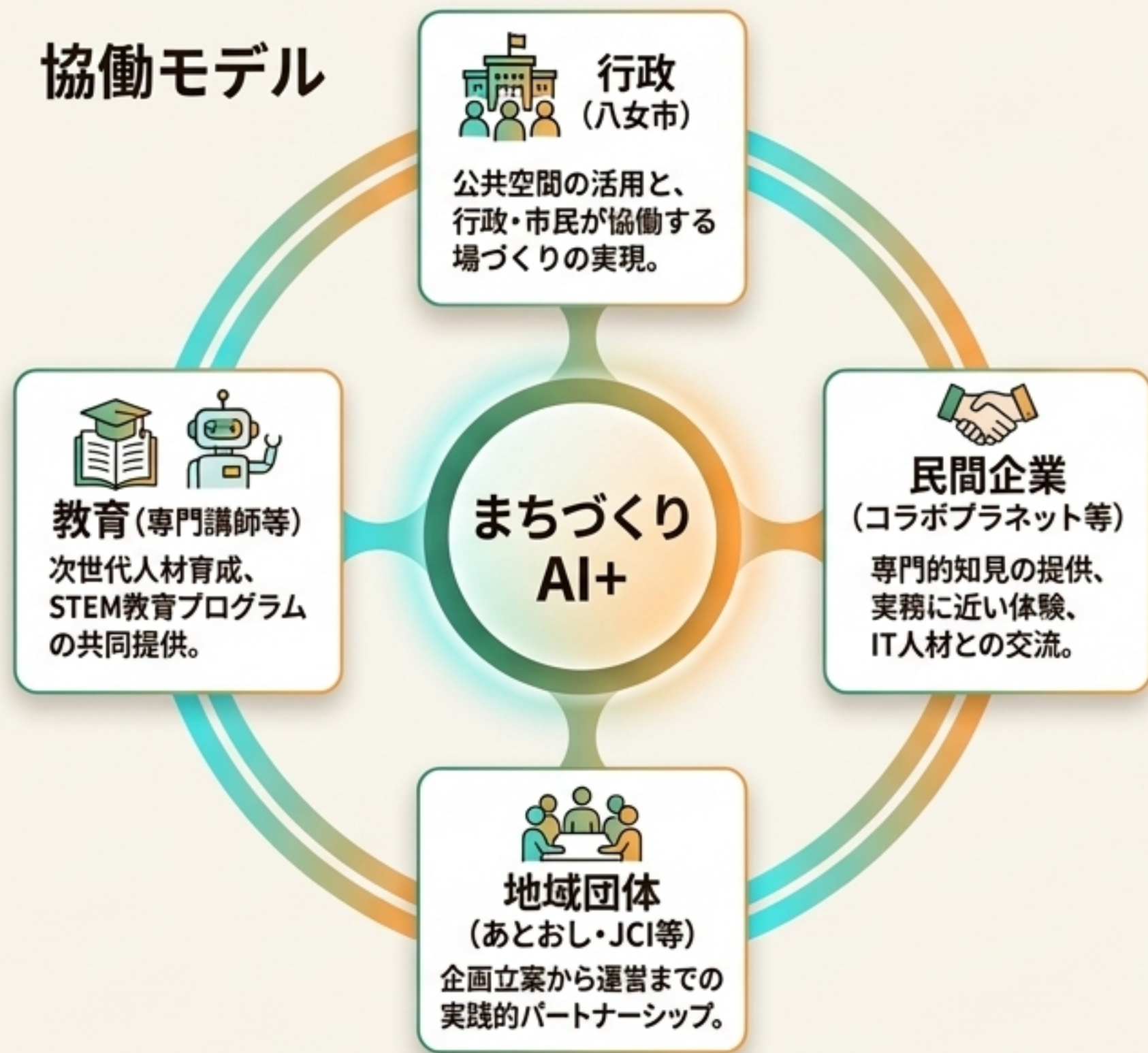


八女スマイルフェスタ (おりなす八女)

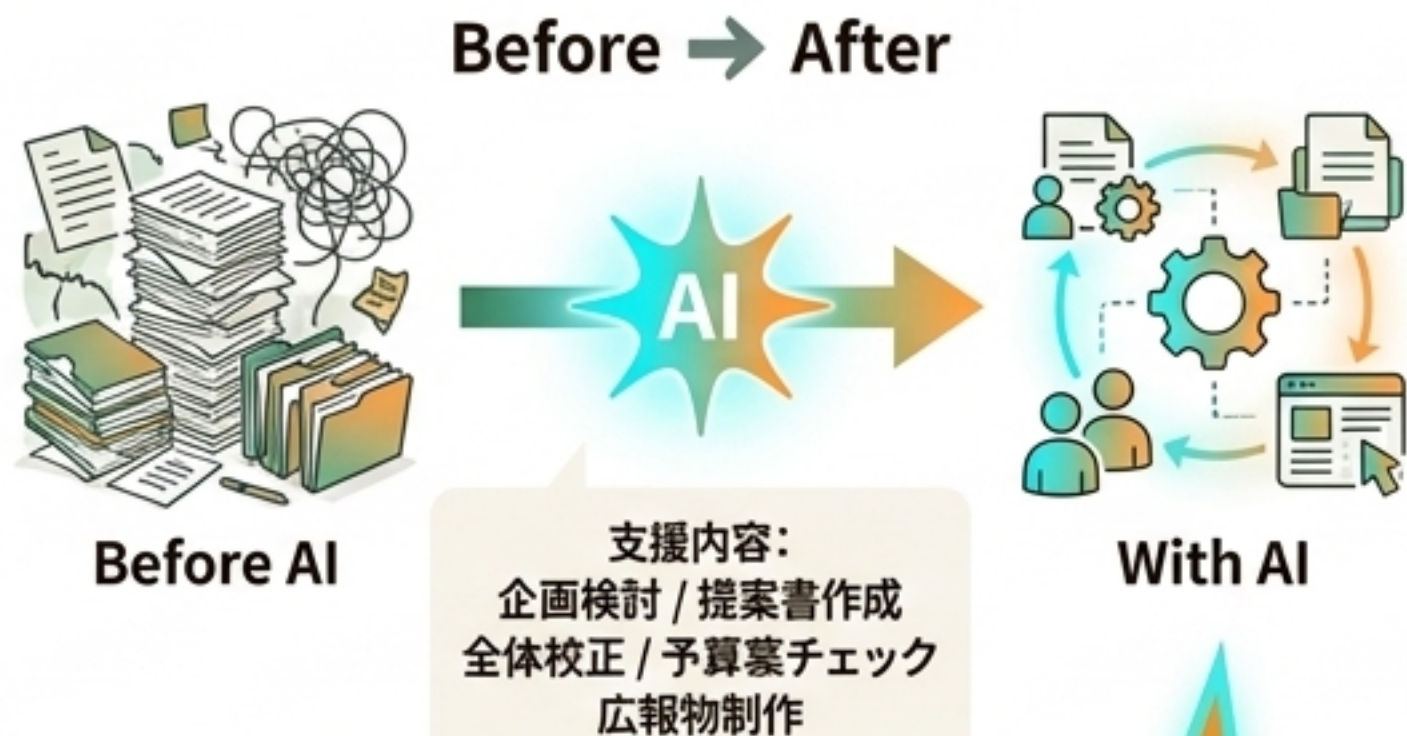
参加者: 約60名 (親子参加者含む)

個人の価値観や感情をもとに「やさしい物語」とイラストを生成。多様性と思いやりをテーマに人権意識の向上を促進。

# 行政・民間・地域団体を繋ぐ、新しい協働モデルと事務支援



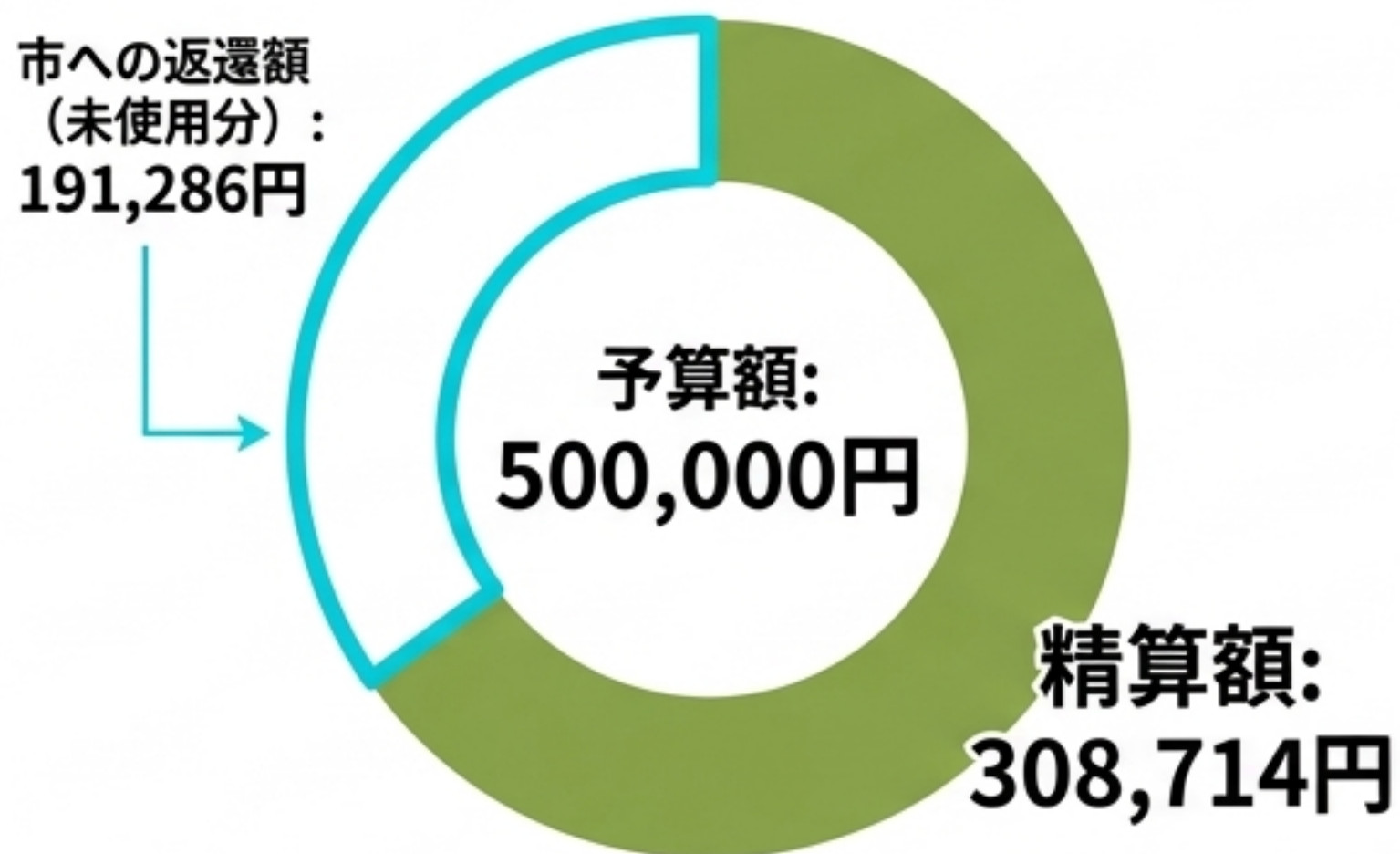
## 地域4団体への伴走支援



**成果:** 事務手続きの工数を大幅削減し、人間にしかできない企画推進や内容のブラッシュアップに注力できる環境を実現。

# 補助金の活用実績（決算報告）と、持続可能な未来へのロードマップ

## 補助金の活用実績（決算報告）



ソフトウェア（生成AI・デザインツール）の厳選や、中古PC機材の活用により、高い事業効果を維持しながら大幅な費用削減を実現。

## 持続可能な未来へのロードマップ

